

招き猫美術館学芸員が行くねこの絵本に出会う旅 vol.33

ノートルダム清心女子大学附属小学校 図書室

出会いの一冊

『なまえのないねこ』

作：竹下文子 絵：町田尚子 出版社：小峰書店

初版発行：2019年4月

ねこの絵本に出会う旅。

色鮮やかな朝顔が咲き誇る、真夏の岡山。

今回訪れたのは、岡山県岡山市にあるノートルダム清心女子大学附属小学校 図書室です。

ノートルダム清心女子大学は、1949年に中四国で初の4年制女子大学として開設。

大学正門を入ると、日本のモダニズム建築に大きな影響を与えた建築家・アントニン・レーモンド氏設計の品格ある美しい学び舎 ノートルダムホール本館と東館が今日も多くの学生たちを出迎えています。

今回訪れたノートルダム清心女子大学附属小学校は、1967年に岡山県内唯一のキリスト教（カトリック）の小学校として大学構内で開設されました。

ノートルダム会の創立者 聖ジュリー・ビリアート氏の理念「心を清くし、愛の人であれ」に基づき、一人ひとりの人格を尊重したきめ細やかな教育が日々行われています。

また「グローバル人材として活躍する人たちが育っていくことを願っています。」との校長 西 弘子先生の想いに見守られ、子どもたちは心豊かに成長してゆきます。

小学校図書室は、正面玄関ホールのすぐ右手にありました。

窓からの明るい日差しが降り注ぐ広々とした部屋には、約 8300 冊の本たち。

登下校時に子どもたちが気軽に図書室へ立ち寄れる配置の工夫がなされていることから、好奇心旺盛な本好きな子どもたちが多いことも納得できます。

今回、学校司書の藤原好見さんに以下のようなイチオシねこ絵本のお話を伺うことができました。

選書：『 なまえのないねこ 』

猫ブーム！続いていますね！

今日は、先生と子どもたちにとっても人気があるこちらをご紹介します。

画家・町田尚子さんの素晴らしい猫の描写力に私も夢中になりました。

いいお話だった！と口をそろえて感想を伝えてくれる子どもたち。

思わず泣きました！と感動された先生。

ラストシーンでは、自分を大切にしてくれる少女に猫は出会います。

ありのままを認めてもらえることは嬉しいことですね。

生き物への命に寄り添うことで読者も幸せな気持ちになれる一冊。

みなさんもぜひ、この夏ご覧になってくださいね。

藤原さん、本日はありがとうございました。

嬉しいねこ絵本との出会いで、また一つ猫との深いご縁ができました。

旅はまだまだ続きます。

ノートルダム清心女子大学附属小学校 <https://nds-u.ed.jp/>

○取材日：2022年8月2日（火） 10:00～11:00